

地区の概要(R2国勢調査参考)		
面積(k㎡)	20.3	
人口(人)	総人口	1054
	15歳未満	103
	15～64歳	454
	65歳以上	497
高齢化率(%)	47.2	
就業人口(人)	第1次産業	77
	第2次産業	97
	第3次産業	314
世帯数(世帯)	総世帯数	427
	高齢単身者	80
行政区数(区)	8	
学校	新和小学校、新和中学校	
文化財・史跡	小宮地城跡、越城跡、赤城跡、ガワツパの証文、銭持墓、愛宕様、西福寺、明栄寺 木場の船付場、合志公園など	
その他地域資源	大杉溜池、昭和溜池、小宮地新田、松原土手の桜並木、十五社宮の桜、はまぼうの群生地、楊貴妃像、ひだまりの里、宮地浦湾仕切り網漁体験	
地域伝統芸能	虫追い祭り	
地域づくり団体	菜の花デンチャーズ、馬場下竹の子会	
<b>地区のいいところ・自慢できること</b>		
①自然豊か(海・山・川に囲まれている。虫が見れる。星がきれい) ②新和の中心(病院・小中学校・支所がある) ③人と人との繋がりがあがる(地区ごとにまとまりがあって、近所付き合いがある) ④高齢者が元気 ⑤伝統的な祭りや神社の祭りが継続 ⑥犯罪が少ない		
<b>地区が抱える課題・困っていること</b>		
①少子高齢化・人口減少 ②仕事や働く場所がない ③耕作放棄地や空き家の増加 ④交通が不便 ⑤イノシシ・タヌキなどの被害が多い ⑥インターネットが未整備 ⑦子どもの遊び場が少ない		



←(宮地浦湾  
仕切り網漁体験)



→(虫追い祭り)

◆◆◆ まちづくりの目標 ◆◆◆

テーマ

生きがいと活力のある、住みよい小宮地づくり

考え方

本地区の基幹産業である農業の活性化策を図りながら、地域の資源、文化、伝統を活用した交流事業を展開し、地域の活力を高めるとともに、地産地消と地域経済の活性化を目的とした加工品の販売や特産品の開発を推進し、地域の住民が共に健康で安心して暮らせる環境づくりに取り組んでいく。

◇分野別に考えられる地区の現状や課題、特徴及び今後の方向性等と、課題の解決や特徴を伸ばすための基本方針

分野別	現状・課題・特徴・方向性等	基本方針
【A】 産業 経済	<ul style="list-style-type: none"> <li>働く場を求め労働人口が市外に流出。</li> <li>高校を卒業したら、市外に出てしまう。</li> <li>大型店舗もなく、商店、飲食店も少ない。</li> <li>広大な農地があるが、耕作放棄地も多い。</li> <li>イノシシ、タヌキ等の被害が多い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域の基幹産業である農業を活性化するために、耕作放棄地の活用や集落営農への協力。</li> <li>後継者となる若者の定住活動を推進する。</li> <li>●耕作放棄地の活用</li> <li>●若者の定住活動の推進</li> </ul>
【B】 観光 ・ 文化	<ul style="list-style-type: none"> <li>蛭が多い。</li> <li>伝統的な祭り(虫追い祭り)の文化がある。</li> <li>仕切り網漁体験ができる。</li> <li>観光施設が少ない。</li> <li>文化財、史跡はあるが未整備。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域の伝統を継承するため、小中学校と連携し、次世代への継承を図っていく。</li> <li>地域の行事や地域にある歴史や文化の理解を深め、情報発信に取り組む。</li> <li>●後継者の育成</li> <li>●地域行事等の情報発信</li> </ul>
【C】 地域 振興	<ul style="list-style-type: none"> <li>人口が減り、若者が少なく高齢者が多い。</li> <li>高齢者が元気</li> <li>老人会に入らない人が多い。</li> <li>空き家、単身者が増えた。</li> <li>小中学生が少ない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域の交流・親睦を深めるため、地域住民が誰でも参加できるような事業に取り組む。</li> <li>高齢者が健康で安心して生活できるような生きがいづくりの場を提供する。</li> <li>若者同士の交流の場を増やし、若者が住みやすい環境を作る。</li> <li>●各種スポーツイベント事業</li> <li>●高齢者の生きがいづくりの場</li> <li>●若者同士・若者と高齢者の交流の場・環境づくり</li> <li>●地区ごと、年齢ごとの行事をつくる</li> </ul>
【D】 教育	<ul style="list-style-type: none"> <li>小中学校がある。</li> <li>子どもの遊び場が少ない。</li> <li>若い人が少ない。</li> <li>小中学生が少ない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>高齢者の生きがいづくりとして、次世代へ伝承の場を広げる。</li> <li>青少年の育成を兼ねた学習の場を提供する。</li> <li>●講演会・学習会</li> </ul>
【E】 保健・医療 ・福祉	<ul style="list-style-type: none"> <li>病院がある。</li> <li>医療と福祉を一本化した福祉ゾーンがある。</li> <li>高齢化が進み、一人暮らしの方も増加。</li> <li>高齢者の移動手段が不便。</li> <li>高齢者が元気。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>高齢者が健康で安心して生活できるように見守り活動への協力。</li> <li>●高齢者の見守り協力(友愛訪問)</li> </ul>
【F】 生活環境 ・ 防犯防災	<ul style="list-style-type: none"> <li>犯罪が少なく、自主防災組織がある。</li> <li>商店・郵便ポストが少なく、店舗まで遠い。</li> <li>空き家が多く、街灯も少ない。</li> <li>インターネット環境が未整備。</li> <li>交通機関が少ないため、車がないと困る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>県道の景観保全活動の維持。(ひだまりの花畑)</li> <li>各地区の自主防災組織の推進。</li> <li>巡回バスの利便性の推進。</li> <li>●自然環境の保全・維持活動</li> <li>●景観形成の推進</li> </ul>
【G】 都市基盤整備		
【H】 総務・企画	<ul style="list-style-type: none"> <li>空き家の増加。</li> <li>若い人が少ない。</li> <li>振興会を知らない人が増えている。</li> <li>振興会の部会と行事の見直し</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>空き家バンクの推進。</li> <li>一定期間の居住できる住環境推進。</li> <li>振興会の役割について知ってもらう。</li> <li>●ワークショップの実施(小中学生)</li> <li>●SNSによる発信・振興会だよりの発行</li> </ul>